

第69回 四万十町“社会を明るくする運動”事業

第59回高幡子ども会親善ソフトボール大会開催

第69回法務省主唱“社会を明るくする運動”の一環として行われた、四万十町社会を明るくする運動主催の「第59回高幡子ども会親善ソフトボール大会」が関係団体各位の協力により、7月28日に四万十町窪川運動場多目的グラウンドで開催されました。

当初は、7月21日の開催予定で、県下各地域から14チームの参加予定でしたが、天候の関係で28日に延期になり、当日は9チーム(130人)が参加しました。開会式では窪川ワイルドボーイズ 森光 稀輝主将の力強い選手宣誓の後、熱戦が繰り広げられました。

朝から猛暑となりましたが、暑さに負けず選手たちは一生懸命汗を流しながら試合をしていました。

決勝戦は町内チーム同士(オール四万十対田野々スポーツ少年団)の対戦となり、オール四万十が見事優勝を飾りました。

大会結果は以下のとおりです。

大会結果

優勝	オール四万十(四万十町)
準優勝	田野々スポーツ少年(四万十町)
第3位	十川スポーツ少年団(四万十町)



▲決勝戦プレイボール!



▲優勝 オール四万十(四万十町)

四万十町区長連絡会視察研修報告 会長 船村 覚

四万十町区長連絡会では7月17日から19日の3日間、東日本大震災における復興状況の視察(仙台市、陸前高田市、南三陸町、女川町、石巻市、東松島市)を行いました。

復興は道半ば

テレビや報道などで被災地の状況について再三映像などを見て災害の大きさにただ驚嘆するのみであったが、今回の視察研修で実際に現地に行き、被災地の甚大さに驚きが倍増されました。復興についてはまだまだ手つかずの箇所は多くあるが、ライフラインの復旧をはじめ、生活の場・就業の場の復興に向けての勢いはすごいものだと感じた。



大川小学校

道路や河川の復旧は、まだまだ道半ばという箇所も多く見かけたが早期に復興して生活環境を確保しなければならない。

住宅地については、ほとんど津波に襲われたところから離れて高台を造成して住宅移転が行われている。元の住宅地も復興されているが、その利用方法はこれからとの地域が見られた。時が経ちまたその地に住宅が建つ事はないと思うが、100年に一回単位の震災とはいえ二度とその地で被災しないことが今回の教訓として生かされなければならないと思う。

今後に向けて

私たちの四万十町も南海トラフ大地震がいずれは起こると思う。地震が発生すれば東日本のことを忘れることなく、まず一番に自分の命を守ることを肝に銘じて行動しなければならない。その後安全が確認できれば協力をして復旧・復興を目指していく。

この研修で感じたこと、実際目にしたことを、区長会などでも情報を共有し、地域の防災活動のさらなる推進に取り組みます。



荒浜小学校



びる野蒜地区

第24回 四万十町窪川B&G海洋センター杯小学生バレーボール大会 開催

8月4日に同センター、他3会場で第24回四万十町窪川B&G海洋センター杯小学生バレーボール大会を開催しました。高学年の部14チーム(県外3県内11)と低学年の部14チーム(県外2県内10町内2(窪川JVC、大正田野々スポーツ少年団)が参加し、各部門決勝トーナメントの切符を争い熱い戦いを繰り広げ大いに盛り上がりました。

町内から出場した2チームは決勝トーナメントに駒を進め、保護者関係者の熱い応援のなか、大正田野々スポーツ少年団が低学年の部で優勝しました。

窪川JVCも4位におりましたが、前回大会2位という結果からもわかるように、毎大会決勝トーナメントの常連チームになってきています。

バレーボール種目が昔から根強いこの四万十町で、未来を担う子どもたちが伝統を継承してくれていると感じた大会でした。今後も町民の皆さまには温かく見守っていただきますようお願いいたします。

大会結果は以下のとおりです。



▲優勝 大正田野々スポーツ少年団



▲低学年の部 決勝 大正田野々 VS 池川



▲開会式 川上哲男教育長挨拶

高学年の部

優勝	立真・柏 JVC(愛媛県西予市)
第2位	十市小バレーボールクラブ(南国市)
第3位	秦ウイング(高知市)

低学年の部

優勝	大正田野々スポーツ少年団(四万十町)
第2位	池川パワージュニアーズ(仁淀川町)
第3位	スマイル大洲 JVC(愛媛県大洲市)

最優秀選手賞 ※高学年の部から

にいやま ののか 新山 乃々香 選手(十市小バレーボールクラブ) せいけい こい 清家 恋 選手(立真・柏 JVC)
うずき ゆま 臼杵 佑真 選手(秦ウイング) かわむら とあ 川村 叶愛 選手(泉野バレーボールクラブ)

夏の風物詩、第50回金太郎夜市

今年も7月12日から8月2日まで、3回にわたり『金太郎夜市』が開催されました。金太郎夜市はこれまで半世紀にもわたって開催されており、高知県内でも最も長い歴史を持つ夜市です。

地元園児による星空美術館など多彩な演目があり、7月12日のオープニングセレモニーでは、窪川中学校吹奏楽部による演奏やもち投げが行われました。また、7月26日の子供夜市では町内の小学校6校の児童と十川中学校の生徒がそれぞれに趣向をこらした出店を行い、多くの人でにぎわいました。さらに今年の夜市では、第50回目の開催を記念して8月2日に商工会青年部によるお化け屋敷と流しそうめんが開催され、参加者は暑い夏の夜に肝と胃を冷やしました。

